

熊野古道（中辺路）における公共交通を活用した移動環境づくりの取組 ～外国人観光客の受入環境整備～

〇県では、昨年5月に「熊野外国人観光客交通対策推進協議会（以下、「協議会」という。）」を設立し、外国人観光客が安心して公共交通機関を利用できる環境づくりに向け、鉄道事業者、複数の路線バス事業者をはじめ、有識者や国、関係市町、観光協会等に意見を伺いながら現状把握・実施事業の検討を進めてきました。

〇本日、総会を開催し「共通整備ガイド」の素案と今年度の実施事業を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

1. 「共通整備ガイド」の素案

熊野地域の主な移動手段である鉄道事業者（JR西日本）及び複数の路線バス事業者（明光バス、龍神自動車、熊野交通、奈良交通）の多言語対応や案内情報の統一した整備方針となる「共通整備ガイド」の素案をとりまとめました。

今後実施するアンケート調査の結果等も踏まえて内容の修正・充実を図りながら、次年度以降もこれに基づいて継続して取組を進めてまいります。

《具体的な内容》

以下のURLにて公開します。（平成30年1月22日（月）以降、公開予定）

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062500/kotsu.html>

2. 今年度の実施事業

上記「共通整備ガイド」に基づき、観光客目線で、路線バスに系統番号を導入し分かりやすくするとともに、複数のバス路線図を鉄道情報も含めて1つにまとめ、乗り換え等の利便性を向上させます。

また、利用者の多い駅等の交通拠点や主要なバス停などにおいて、周辺観光地の案内図を新たに設置するなど、外国人観光客に分かりやすい案内情報の充実等に取り組みます。

《整備事例：本宮大社前のバス停》

- ・2つに分かれていたバス乗り場を世界遺産熊野本宮館の前に集約、行先ごとに1～4番の乗り場番号を決めて、それぞれに路線バスの系統番号を表示

【整備前（右：参心門王子方面他、左：田辺、新宮方面他）】



【整備イメージ】



3. 参考資料：別添

- ・熊野外国人観光客交通対策推進協議会 名簿
- ・今年度の実施事業、共通の路線図、系統番号一覧表

観光庁「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）」を活用しています。

お問い合わせ

熊野外国人観光客交通対策推進協議会事務局（県観光交流課 環境づくり班内）
担当/古川・田嶋 TEL073-441-2787 / FAX073-427-1523